



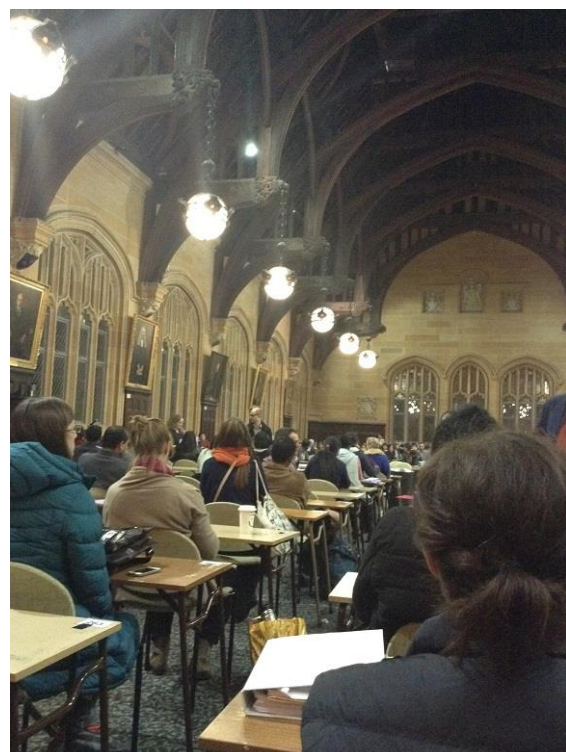
## シドニー留学便り\_\_vol.5



こんにちは。前回のお便り以降、AssignmentsやExamsの準備で追われる日々でしたが、ようやく最後の試験が終了し、1st Semester が終わりました！ 7月末の2nd Semester開始までの約1か月間、冬休みとなります。6月なのに冬休みというのが何とも変な気がしますが、最近は最高気温が20°Cを下回る日もあり、街中や大学のあちらこちらで咳をする人も多く見かけるようになりました。まさに、Flu season到来です。先日、駅のホームの壁に、ニューサウスウェールズ州が出しているインフルエンザ予防とワクチン接種の啓発ポスターを見つけました。”Flu”と”Influence”をかけているあたりが、なんともインパクトがあります。

■ MPH programでの初めてのExams  
さて、前々回のお便りでお伝えしたように、1st Semesterでは、公衆衛生の基本となるEpidemiology, Biostatistics, Health Promotionがメインとなっていますが、試験があったのはEpidemiologyとBiostatisticsの2科目でした。それぞれ2時間半ずつのOpen book style(教科書、プリント等持ち込み可)の試験です。

暗記の必要はないものの、限られた時間内に英語で答案を作成しなくてはならないというプレッシャーで、とても緊張しました。ちなみに、試験会場の様子はこんな感じ  
です。On campusで受講している学生以外に、Onlineで受講している学生も受験するため、総勢300人超の学生が一斉に試験を受けます(もちろん、MPH program以外の課程の学生も含まれます)。オーストラリアで最も古い大学の歴史を感じさせる、素敵な会場でした。



Epidemiology試験終了後、帰る直前の様子。普段は入れない部屋なので、思わず写真を撮ってしまいました。(試験時間外の写真撮影は禁止事項でないのでご安心ください)

## ■ 試験でも“Critical appraisal”

Epidemiologyの試験では、毎年、架空の疫学研究(実際の疫学論文を一部修正したもの)について、critical appraisalをする問題が出題されます。特に、selection biasとmeasurement biasに関わる点について、biasが生じる点(sources of bias)を一つ一つシステマティックにチェックしていきながら、biasが結果にどのような影響を及ぼしうるのか、その影響はその研究の欠点になりうる問題か、などなど、漏れのないように確認、評価していくことが求められます。試験の緊張状態の下でも漏れなくチェックできるよう、下記のように、study designごとにsources of biasのチェックリストを各自作成して、皆、試験に臨んでいました。

これまで、どういうbiasがあるのか、それらが結果にどのような影響を及ぼしうるのかということは多少学んできてはいたものの、システマティックにチェックできるような知識の整理をしてこなかったため、文献を読んでいて、「これって〇〇biasなのでは？」と気づくことはあっても、多くのsources of biasを見逃してきたのだろうなあ実感しています(恥ずかしながら、、、)。

このシステマティックなcritical appraisalの練習を重ねて自然にできるようになりたいものです。

## ■ 勉強の息抜きに…

5月下旬から6月は、前述のようにAssignmentや試験勉強に追われる日々で、「図書館で勉強する派」の私は、ほぼ毎日大学の図書館に通っていました。色々なFacultyの図書館があるので、混雑状況や気分で場所を転々としながら、その図書館の近くにあるcafeでコーヒーやランチを時々楽しんでみるというのが息抜きの一つでした。実は、シドニーはカフェ文化が盛んで、街中のあちらこちらでカフェを見かけます。大学のキャンパスにも美味しいと評判のカフェがいくつかあり、食後にコーヒーを買いに行くのがすっかり習慣化してしまいました。

### < Cohort studyの例 >

#### Selection issues

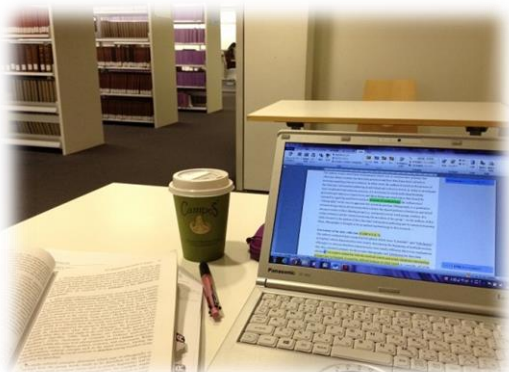
- ✓ Non-participantsがどれくらい存在するか。Non-participantsの存在によって、比較する群の特性(exposure factor以外)に差が生じるか。これらの点について吟味するための十分な情報が提供されているか(non-participantsの特性など)。
- ✓ Lost to follow-upがどれくらい存在するか。比較する群間でその割合に差があるか、それによって各群の特性に偏りが生じるか。

#### Measurement issues

- ✓ Exposure factor, outcome factor, confounding factor それぞれの測定について、どのようなmeasurement errorが生じるか。また、そのerrorは“differential misclassification”(比較する群間でerrorの生じ方に差がある)か、“non-differential misclassification”(両群でerrorが同程度生じる)か。

← お気に入りのコーヒーを飲みながらAssignment…

たまに、こんなボリュームのある→  
バーガーをカフェで食べてみたりしていました。





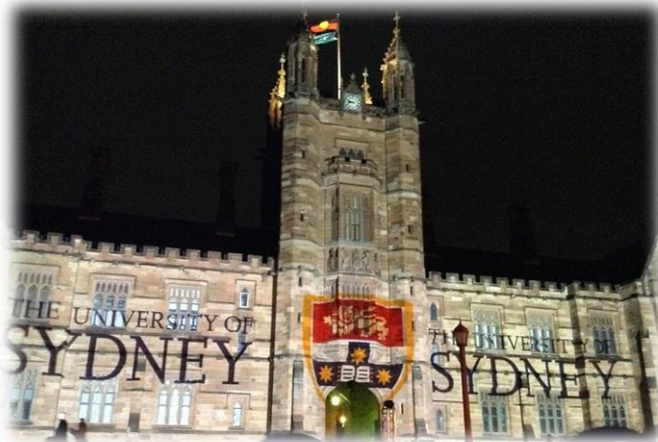
## ■ 冬のシドニーの風物詩 Vivid Sydney

シドニーのWinter seasonのイベントとして数年前から始まったのが、Vivid Sydneyというものです。オペラハウスをはじめとする街中の建物にプロジェクションマッピングできれいな映像が映し出されます。5月末から6月初旬の約2週間ほどの期間限定のイベントで、私にとっては最初で最後なので、大学の帰りに立ち寄ってみました。同時期に、シドニー大学でもVivid Sydney関連イベントとしてプロジェクションマッピングをやっていました。



← 定番のオペラハウス。夜の海に明るく浮かび上がる感じで、素敵でした。

以前にもご紹介したことのある、シドニー大学のメインの→建物 Quadrangle building です。ストーリー性のある映像が音楽に合わせて映し出されます。



← ちなみに、このQuadrangle building の中に、試験会場があります。



オペラハウス近くにある、Customs House という建物。→昔、税関の建物として使用されていた歴史的な雰囲気のある建物なのですが、プロジェクションマッピングで、もとの建物の形がわからなくなっています。



それでは、今回はこの辺で。7月末からの2nd Semesterでは、多くが選択科目になります。より発展的なEpidemiologyとBiostatisticsを中心に選択する予定なので、またその様子をお便りさせていただきます。

(鈴木智子)